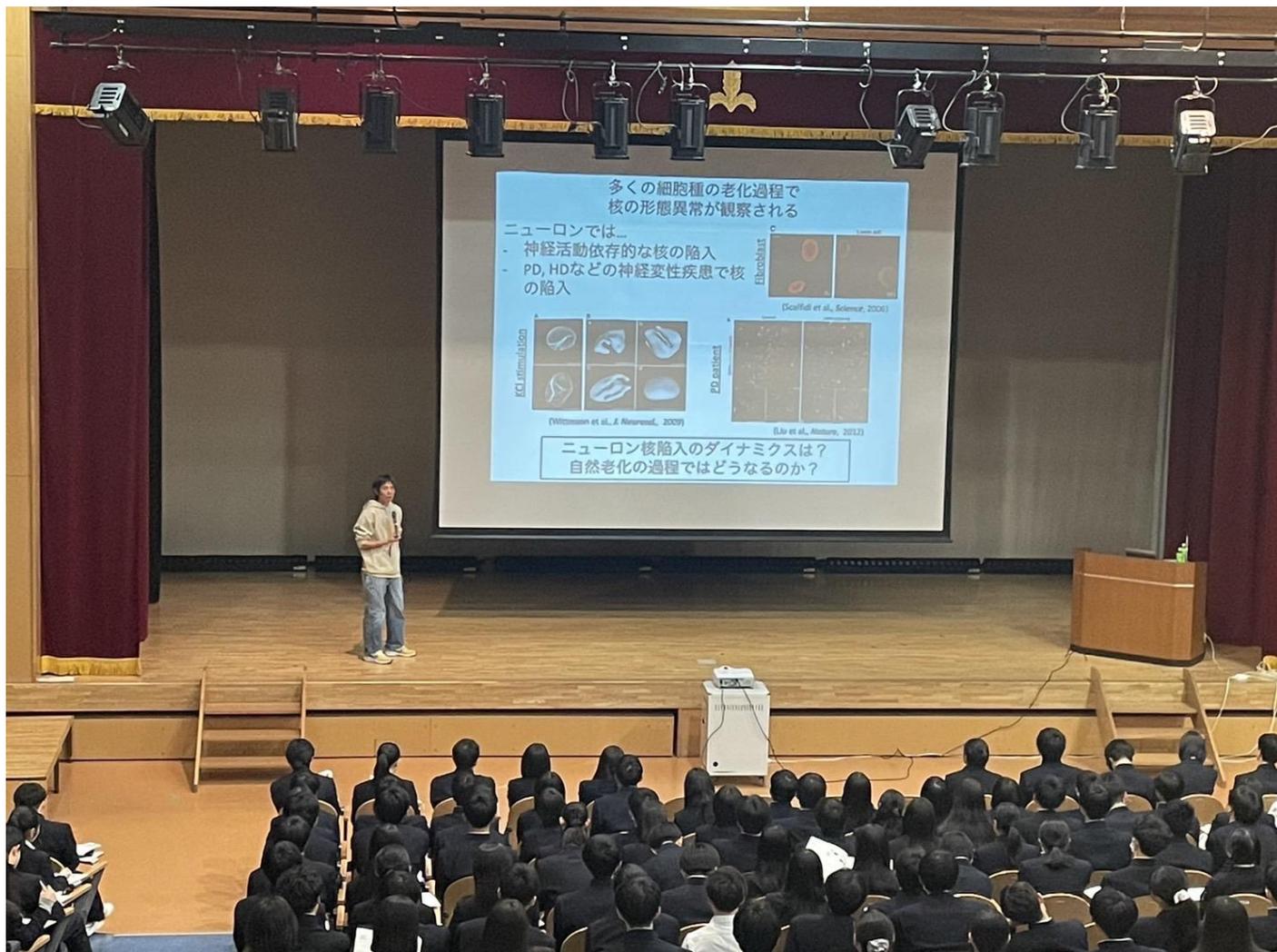


令和6年度 1年次生対象 東京大学 定量生命科学研究所 分子神経生物学研究分野 准教授 岸 雄介先生による SSH 講演会



令和7年1月14日(火)に、東京大学 定量生命科学研究所 分子神経生物学研究分野 准教授 岸 雄介先生による1年次生徒対象のSSH講演会が行われました。岸先生は、本校のご出身で、卒業後、東京大学工学部生命工学科、東京大学大学院工学系研究科に進まれ、東京大学分子細胞生物学研究所 後藤由季子研究室に所属され、「神経発生におけるクロマチン制御」についてご研究されました。博士号を取得後、東京大学分子細胞生物学研究所助教、東京大学大学院薬学系研究科講師をご経験され、現在は東京大学 定量生命科学研究所 分子神経生物学研究分野 准教授をされています。東京大学大学院薬学系研究科に協力講座を開設される等、様々な活動にご尽力され、大変素晴らしい成果を残されています。

講演は、「目の前のヒトがどんなヒトか、どうやったら調べられますか？」と題し、探究活動の意義や岸先生の高度な研究について、お話していただきました。ニューロン核やエピゲノムのお話を中心に、核のダイナミクスの重要性や、エピジェネティクスの可能性を探るお話もあり、大変勉強になる有意義な講演会となりました。

これからの社会に必要とされる力や、イノベーションを創出するために必要なことを考えることもできました。生徒にとっては、将来の自分を見つめる機会にもなったようです。今後、生徒それぞれが、自分の探究活動をさらに充実させてくれることを期待します。